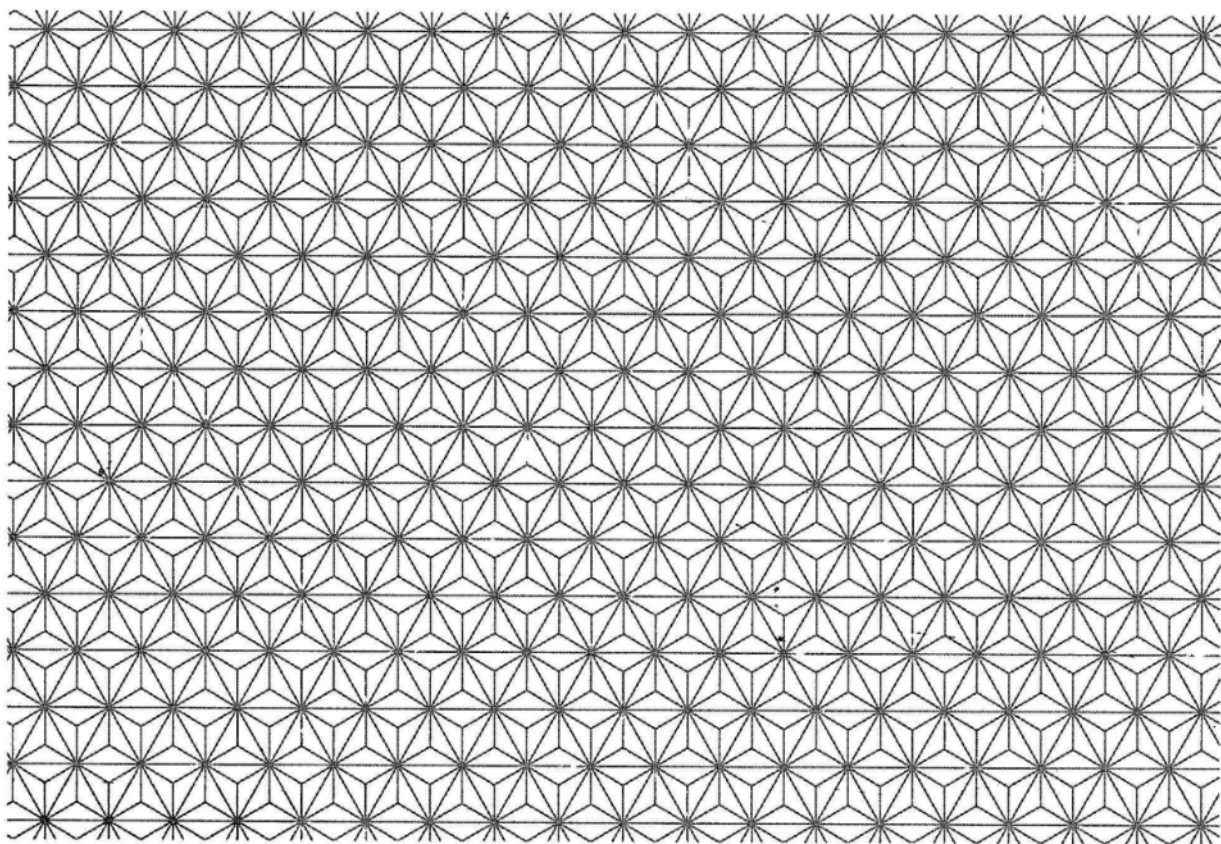


# 新完全マスター 文法

## 日本語能力試験 N2



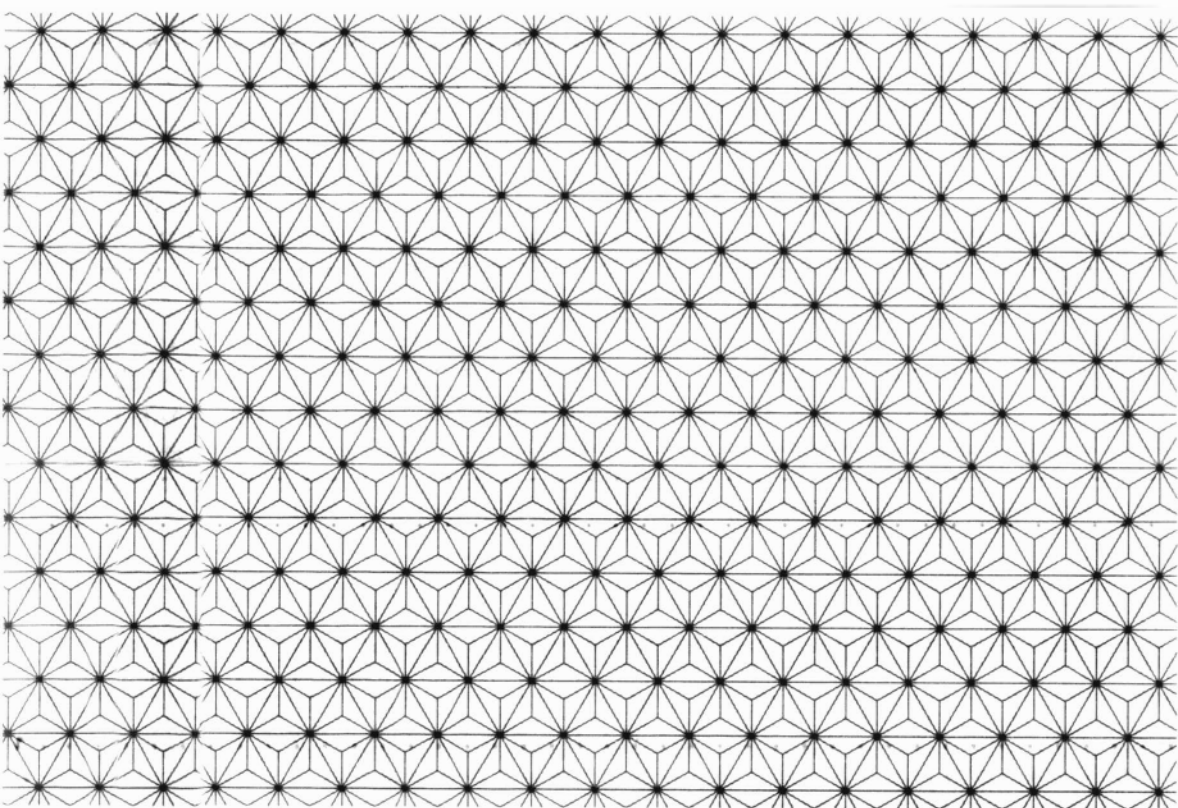
友松悦子・福島佐知・中村かおり 著

スリーイーネットワーク



# 新完全マスター 文法

## 日本語能力試験 N2



友松悦子・福島佐知・中村かおり 著

©2011 by Tomomatsu Etsuko, Fukushima Sachi, and Nakamura Kaori

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan

ISBN978-4-88319-565-7 C0081

First published 2011

Printed in Japan

## はじめに

日本語能力試験は、1984年に始まった、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験です。受験者が年々増加し、現在では世界でも大規模の外国語の試験の一つとなっています。試験開始から20年以上経過する間に、学習者が多様化し、日本語学習の目的も変化してきました。そのため、2010年に新しい「日本語能力試験」として内容が大きく変わりました。新しい試験では知識だけでなく、実際に運用できる日本語能力が問われます。本書はこの試験のN2レベルの問題集として作成されたものです。

まず「問題紹介」で、問題の形式とその解法を概観します。次に「実力養成編」で、三つの問題形式別に、必要な言語知識を身につけるための学習をします。最後に「模擬試験」で、実際の試験と同じ形式の問題を解いてみることによって、どのくらい力がついたかを確認します。

### ■本書の特徴

- ①旧出題基準2級を参考に、N2レベルで必要だと思われるものを網羅
- ②文法形式の全体を概観できるように、主観を含む度合いによって大きく三つに分類
- ③やみくもに暗記するのではなく、効率的に整理して学習することを示唆
- ④丁寧な解説と豊富な練習問題（小説、エッセイ等多様な文章から作成）で「文章の文法」を充実

言語を必要とする課題を遂行するためには、言いたいことが伝わる文を、そして、意味のあるまとまりを持った文章を作るための文法的知識が必要です。私たちは日ごろの授業で、試験のためだけではなく、実際の言語生活で役に立つような文法学習はどうあるべきかを考え続けてきました。本書が日本語能力試験の受験に役立つと同時に、日本語を使って学習・生活・仕事をする際にも役立つことを願っています。

本書を作成するにあたり、第一出版部の田中綾子さん、佐野智子さんには鋭いご指摘とご助言を頂きました上、原稿を丁寧に見ていただきました。心よりお礼申し上げます。

はじめに  
本書をお使いになる方へ..... ix

問題紹介

I 文の文法1 (文法形式の判断)..... 2  
II 文の文法2 (文の組み立て) ..... 3  
III 文章の文法 ..... 4

実力養成編

第1部 文の文法1

I ことがらを説明する☆

1 課 ~とき・~直後に ..... 8  
1. ~際(に)  
2. ~に際して・~にあたって  
3. ~たとたん(に)  
4. ~(か)と思うと・~(か)と思ったら  
5. ~か~ないかのうちに  
2 課 ~している(進行中) ..... 12  
1. ~最中だ  
2. ~うちに  
3. ~ばかりだ・~一方だ  
4. ~(よ)うとしている  
5. ~つつある  
6. ~つつ  
3 課 ~後で ..... 16  
1. ~てはじめて  
2. ~上(で)  
3. ~次第

4. ~て以来・~てこのかた  
5. ~てからでないと・~てからでなければ  
4 課 範囲の始まりと終わり・その間 ..... 20  
1. ~をはじめ(として)  
2. ~からして  
3. ~にわたって  
4. ~を通じて・~を通して  
5. ~限り  
6. ~だけ  
5 課 ~だけ ..... 24  
1. ~に限り  
2. ~限り(は)  
3. ~限りでは  
4. ~に限って  
問題(1 課~5 課) ..... 28  
6 課 ~だけではなく・それに加えて ..... 30  
1. ~に限らず  
2. ~のみならず  
3. ~ばかりか  
4. ~はもとより  
5. ~上(に)  
7 課 ~について・~を相手にして ..... 34  
1. ~に関して  
2. ~をめぐって  
3. ~にかけては  
4. ~に対して

5. ～にこたえて

8課 ～を基準にして..... 38

1. ～をもとに(して)
2. ～に基づいて
3. ～に沿って
4. ～のもとで・～のもとに
5. ～向けだ

9課 ～に関連して・～に対応して..... 42

1. ～につれて・～にしたがって
2. ～に伴って・～とともに
3. ～次第だ
4. ～に応じて
5. ～につけて

10課 ～や～など..... 46

1. ～やら～やら
2. ～というか～というか
3. ～にしても～にしても・  
～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ
4. ～といった

問題(1課～10課)..... 50

II 主観を含めて説明する☆☆

11課 ～に関係なく・無視して..... 52

1. ～を問わず
2. ～にかかわりなく・～にかかわらず
3. ～もかまわず

4. ～はともかく(として)

5. ～はさておき

12課 強く否定する・強く否定しない... 56

1. ～わけがない
2. ～どころではない・～どころか
3. ～ものか
4. ～わけではない・～というわけではない
5. ～というものではない・  
～というものでもない

13課 ～(話題)は..... 60

1. ～とは
2. ～といえば
3. ～というと・～といえば・～といったら
4. ～(のこと)となると
5. ～といったら

14課 ～けれど..... 64

1. ～にもかかわらず
2. ～ものの・～とはいうものの
3. ～ながら(も)
4. ～つつ(も)
5. ～といっても
6. ～からといって

15課 もしそうなら・たとえそうでも... 68

1. ～としたら・～とすれば・～とすると・  
～となったら・～となれば・～となると
2. ～ものなら
3. ～(よ)うものなら

4. ~ないことには
5. ~を<sup>か</sup>抜きにしては
6. ~としても・~にしても・~にしろ・  
~にせよ

問題(1課~15課)..... 72

16課 ~だから(理由) -1..... 74

1. ~によって
2. ~ものだから・~もので・~もの
3. ~おかげだ/~せいだ
4. ~あまり・あまりの~に
5. ~につき

17課 ~だから(理由) -2..... 78

1. ~ことだし
2. ~のことだから
3. ~だけに
4. ~ばかりに
5. ~からには・~以上(は)・~上は

18課 ~できない・困難だ・~できる ... 82

1. ~がたい
2. ~わけにはいかない・  
~わけにもいかない
3. ~かねる
4. ~ようがない
5. ~どころではない
6. ~得る/~得ない

19課 ~を見て評価すると・  
~の立場で評価すると..... 86

1. ~わりに(は)
2. ~にしては
3. ~だけ(のことは)ある
4. ~として
5. ~にとって
6. ~にしたら~・~にすれば・  
~にしてみれば・~にしても

20課 結果はどうなったか..... 90

1. ~たところ
2. ~きり
3. ~あげく
4. ~末(に)
5. ~ところだった
6. ~ずじまいだ

問題(1課~20課)..... 94

21課 強く言う・軽く言う..... 96

1. ~ぐらい・~くらい
2. ~など・~なんか・~なんて
3. ~まで・~までして・~てまで
4. ~として~ない
5. ~さえ
6. ~てでも



### Ⅲ 主観を述べる☆☆☆

22 課 ～たろうと思う..... 100

1. ～とみえる
2. ～かまない
3. ～おそれがある
4. ～まじ／～ではあるまいか
5. ～に重くない・～に相違ない
6. ～にきまっている

23 課 感想を言う・主張する..... 104

1. ～ものだ
2. ～というものだ
3. ～にすぎない
4. ～にまかならない
5. ～に感したことはない
6. ～しかない・～よりほかない
7. ～べきだ／～べきではない

24 課 提案する・意志を表す..... 108

1. ～(よ)うではないか
2. ～ことだ
3. ～ものだ／～ものではない
4. ～ことはない
5. ～まじ／～(よ)うか～まいか
6. ～ものか

25 課 強くそう感じる・  
思いが強えられる..... 112

1. ～てしたがない・～てしょうがない・  
～てたまらない

2. ～てならない
3. ～ないではいられない・  
～ずにはいられない
4. ～ないわけに(は)いかない
5. ～ざるを得ない

26 課 願う・感動する..... 116

1. ～たいものだ・～てほしいものだ
2. ～ものだ
3. ～ないもの(だろう)か
4. ～ものがある
5. ～ことだ
6. ～ことだろう・～ことか

問題(1 課～26 課)..... 120

### Ⅳ 文法形式の整理

- A 元の言葉に着目..... 122
- B 「言う・する」を使った言い方..... 124
- C 古い言葉を使った言い方..... 126
- D 「もの・こと」を使った言い方..... 128
- E 「わけ・ところ」を使った言い方..... 132
- F 二つの言葉を組にする言い方・  
助詞..... 134
- G 文法的性質の整理..... 136

## 第2部 文の文法2

- 1 課 文の組み立て-1  
決まった形 ..... 140
- 2 課 文の組み立て-2  
名詞を説明する形式 ..... 142
- 3 課 文の組み立て-3  
「～ない」がつく文法形式 ..... 146

## 第3部 文章の文法

- 1 課 始めと終わりが正しく  
対応した文 ..... 150
- 2 課 時制 ..... 154
- 3 課 条件を表す文 ..... 158
- 4 課 視点を動かさない手段-1  
動詞の使い方、  
自動詞・他動詞の使い分け ..... 162
- 5 課 視点を動かさない手段-2  
「～てくる・～ていく」  
の使い分け ..... 166
- 6 課 視点を動かさない手段-3  
受身・使役・使役受身  
の使い分け ..... 170
- 7 課 視点を動かさない手段-4  
「～てあげる・～てもらう・  
～てくれる」の使い分け ..... 174
- 8 課 指示表現「こ・そ・あ」  
の使い分け ..... 178
- 9 課 「は・が」の使い分け ..... 182
- 10 課 接続表現 ..... 186
- 11 課 省略・繰り返し・言い換え ..... 190
- 12 課 文体の一貫性 ..... 194

## 模擬試験

- 第1回 ..... 200
- 第2回 ..... 204
- 索引 ..... 208

別冊 解答